

教育旅行コンテンツRethink YAWATA

提案者：株式会社JTB北九州支店

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

北九州市立大学とJTBが協業し、SDGs未来都市北九州を舞台に旅行コンテンツを開発するもの。SDGsを織り込んだ教育旅行を提供することは、「交流人口の増」に寄与し、さらには「SDGsの認知度」向上に貢献する。

域外・域内の中高生対象としたSDGsを学ぶ教育旅行コンテンツを提供することで、次世代を担う若者に自分ごととして“まちづくり”を考えるきっかけをつくる。

関連するゴール

4. 質の高い教育をみんなに

11. 住み続けられるまちづくりを

活動概要

北九州市立大学地方創生学群小林ゼミの学生とJTBが協業し、域外・域内からの教育旅行コンテンツを造成。

- ・約4時間程度の体験プログラムとする
- ・フィールドワーク（町歩き）とワークショップ2部構成。
- ・ファシリテーターとして大学生が、4～7名の班構成した中高生を引率
- ・3回程度のトライアル実施
- ・舞台は、東田地区



成果・数値目標

2020～2021年度に開催する「Rethink YAWATA」のプログラム 参加者数（目標100名）

北九州SDGsクラブ プロジェクトチーム 実施計画書

| | |
|---------|--------------------------|
| 提案者名 | (株)JTB 北九州支店 |
| プロジェクト名 | 教育旅行コンテンツ Rethink YAWATA |

1. プロジェクトの概要

| | |
|----------------------|--|
| ① 目的 (解決したい課題など) | <p>本プロジェクトは、北九州市立大学と JTB が協業し、SDGs 未来都市北九州を舞台に旅行コンテンツを開発するもの。</p> <p>八幡・東田地区には、世界遺産「八幡製鐵所」、環境ミュージアムなど、ものづくりの歴史と公害克服の歴史を学べる施設が集積している。「ものづくり」「公害克服」という街の歴史に併せ、未来を考えるツールとしての SDGs を織り込んだ教育旅行を提供することは、北九州市の抱える「定住人口の減」の課題に対する「交流人口の増」に寄与し、さらには「SDGs の認知度」向上に貢献する。</p> <p>域外・域内の中高生対象とした SDGs を学ぶ教育旅行コンテンツを提供することで、次世代を担う若者に自分ごととして“まちづくり”を考えるきっかけをつくる。</p> |
| ② 達成したい SDGs のゴール | <p>コンテンツ体験を通じて学生たちが感じるゴールは様々であるが、共通するゴールとして、</p> <p>4. 質の高い教育をみんなに 11. 住み続けられるまちづくりを</p> |
| ③ 具体的な活動内容 | <p>活動内容 北九州市立大学地方創生学群小林ゼミの学生と J T B が協業し、域外・域内からの教育旅行コンテンツを造成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約 4 時間程度の体験プログラムとする ・フィールドワーク（町歩き）とワークショップ 2 部構成。 ・ファシリテーターとして大学生が、4~7 名の班構成した中高生を引率 ・3 回程度のトライアル実施 ・舞台は、東田地区 <p>実施内容 ・8 月、11 月にトライアル実施 2020 年 2 月の完成を目指し、もう 1 回程度トライアルを予定 ・北九州市立大学生と J T B 担当との協議</p> |
| ④ 活動による成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・未来に向けた人材育成としての教育旅行の提案 ・旅行誘致による交流人口の増 ・北九州市＝SDGs 先進都市ブランドの広域発信 ・北九州市の SDGs への取組を再確認することによる大学生（若者）のシビックプライド醸成、定住促進 |
| ⑤ 数値目標 | 2020～2021 年度に開催する「Rethink YAWATA」のプログラム参加者数（目標 100 名） |
| ⑥ 資金・物資計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・トライアル実施の交通費、人件費、備品代 ・実施見込み校へ向けたプロモーション費用 ・招聘講師への謝礼 |

2. 参加メンバーへの期待

| | |
|---------------|---|
| ① 参加してほしいメンバー | 日本製鉄、地域住民、光タクシー、地元商店街、イオン |
| ② 想定しているメンバー数 | 3~5事業者 |
| ③ メンバーへの期待 | ・参加いただく中高生によりストーリー性・インパクトを感じていただける演出・講演等 ・普段、未公開としているエリアの条件付の解放・公開 |

3. 実施スケジュール（概要）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|--|----|----|----|--------------|----|-----|--------------|---|----|-------------|--------------------------------|
| 活動1 | <div style="background-color: #cccccc; height: 10px; width: 100%;"></div> コンテンツ会議 （2ヶ月に1回程度、北九州市立大学で開催予定） | | | | | | | | | | | |
| 活動2 | | | | | ▲ | | | ▲ | | | ▲ | |
| | | | | | トライアル実施（1回目） | | | トライアル実施（2回目） | | | トライアル実施（最終） | |
| 活動3 | | | | | | | | | <div style="background-color: #cccccc; height: 10px; width: 100%;"></div> フィールドワーク時の コースポイント選定、 演出等検討 | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | ▲ 【必須】 活動報告書の 提出（3月末） |

※活動が複数ある場合は、活動1、活動2…として記載してください

※スケジュールの詳細な資料がある場合は、別途ご提出ください。

4. その他特記事項

| | |
|-----------|--|
| ① その他特記事項 | 北九州市に修学旅行で訪れる動機となりうるコンテンツを いっしょに作りましょう！ |
|-----------|--|

5. 連絡窓口

| | |
|---------|-------------------------|
| 企業・団体名 | (株) J T B 北九州支店 |
| 部 署 | 営業課 |
| 担当者名 | 林 辰雄 |
| 電話番号 | 0 9 3 - 5 2 1 - 2 8 8 7 |
| メールアドレス | t_hayashi710@jtb.com |